

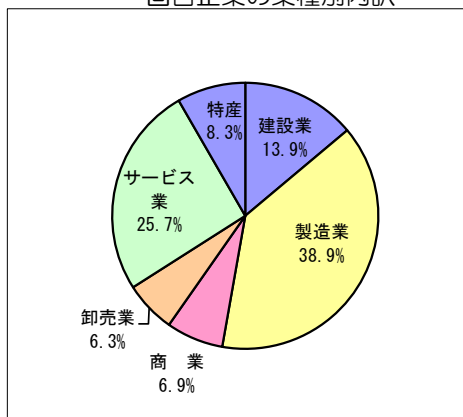
小野商工会議所会員事業所 景気調査（2020年第4四半期）集計結果

2021年1月31日

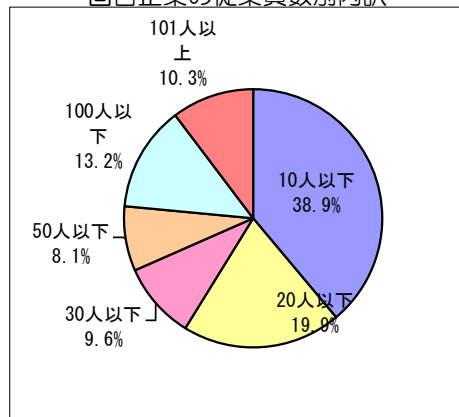
アンケート回答企業数 144社 （アンケート送付数 215社）
 回収率 67.0%

調査対象期間 2020年10月～12月
 比較対象期間 前年同期 2019年10月～12月
 前 期 2020年7月～9月
 来 期 2021年1月～3月

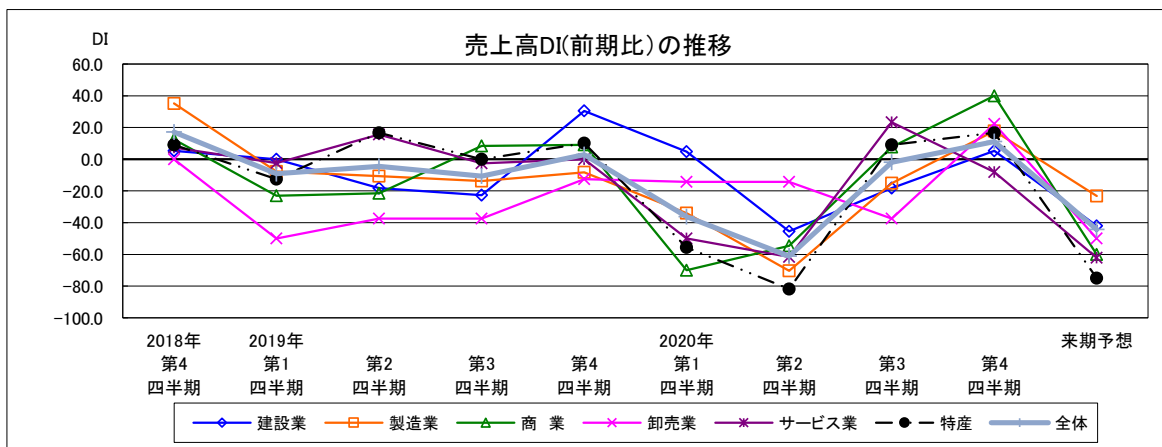
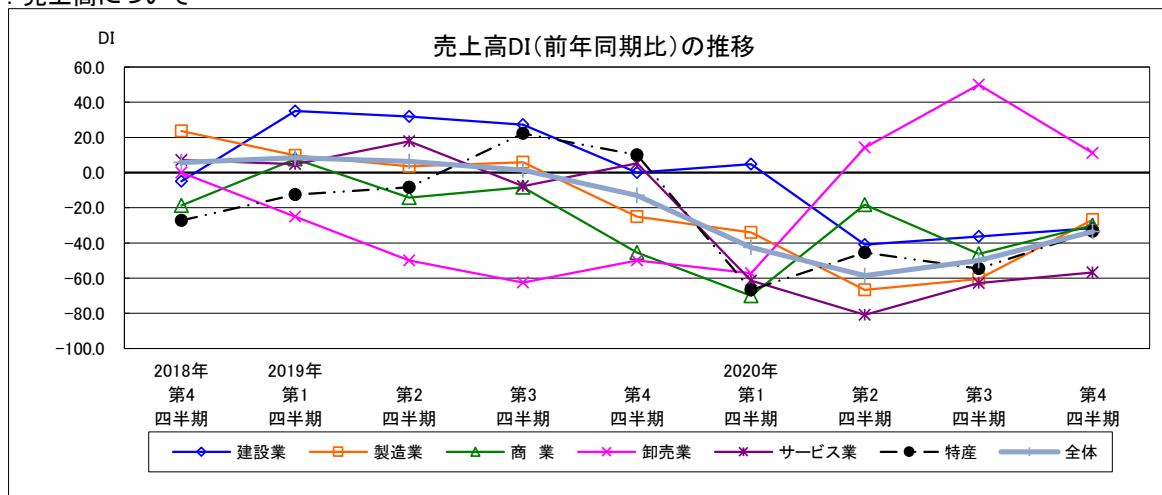
回答企業の業種別内訳



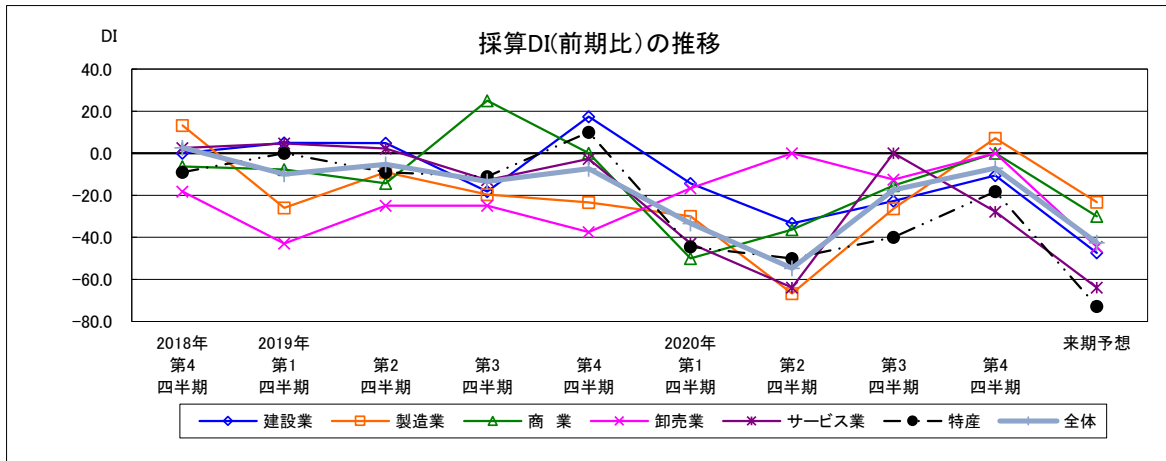
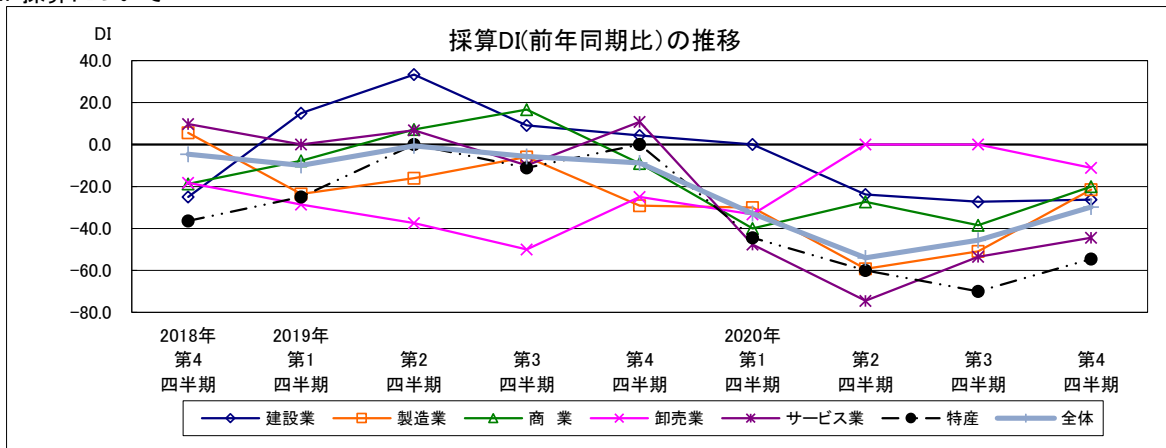
回答企業の従業員数別内訳



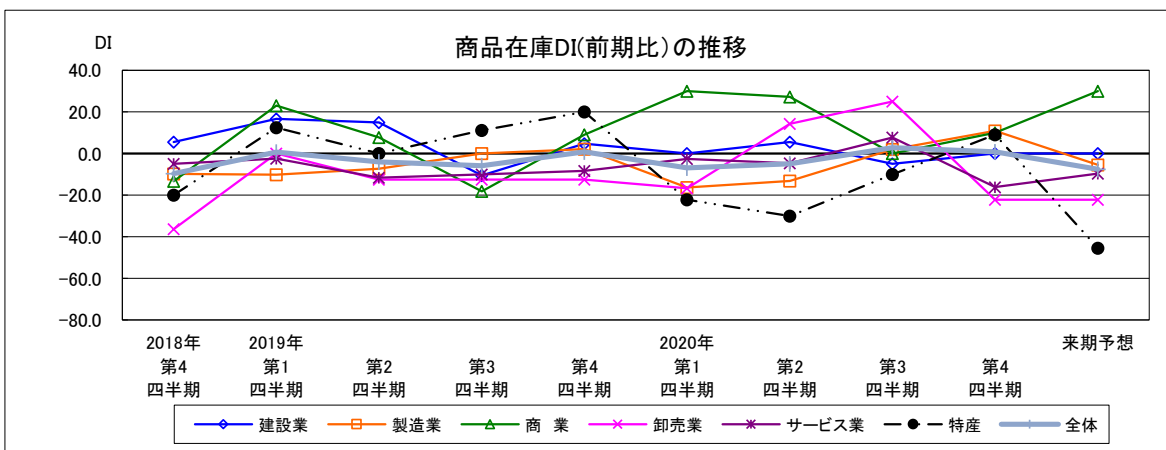
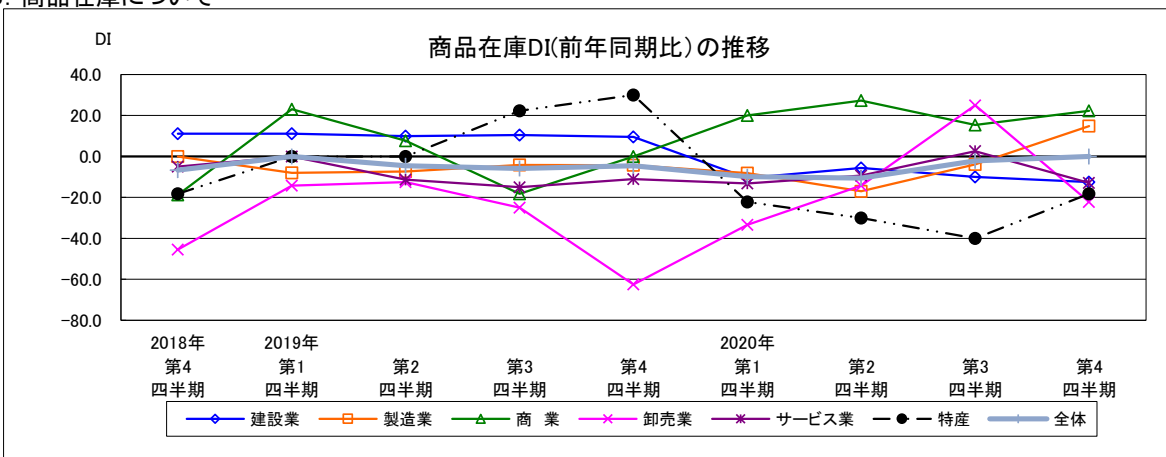
1. 売上高について



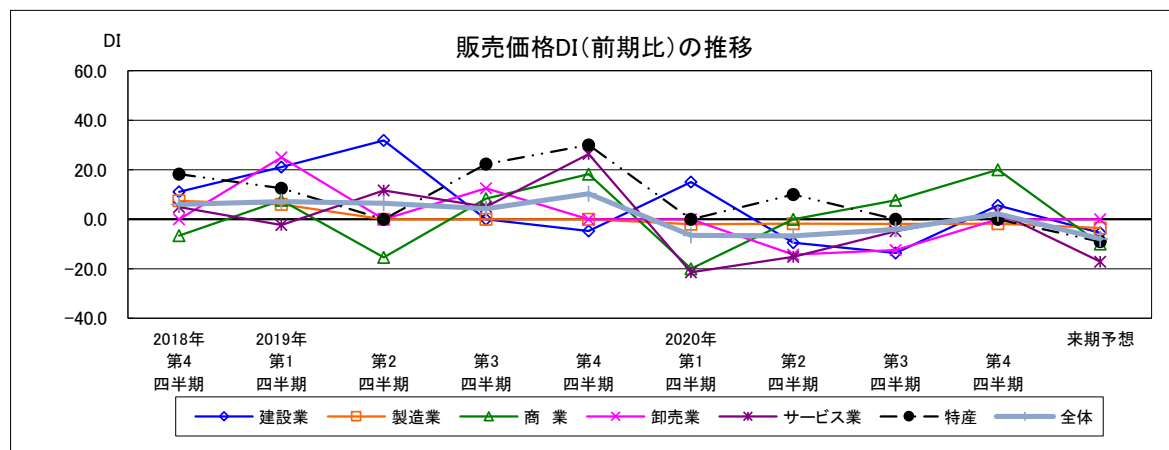
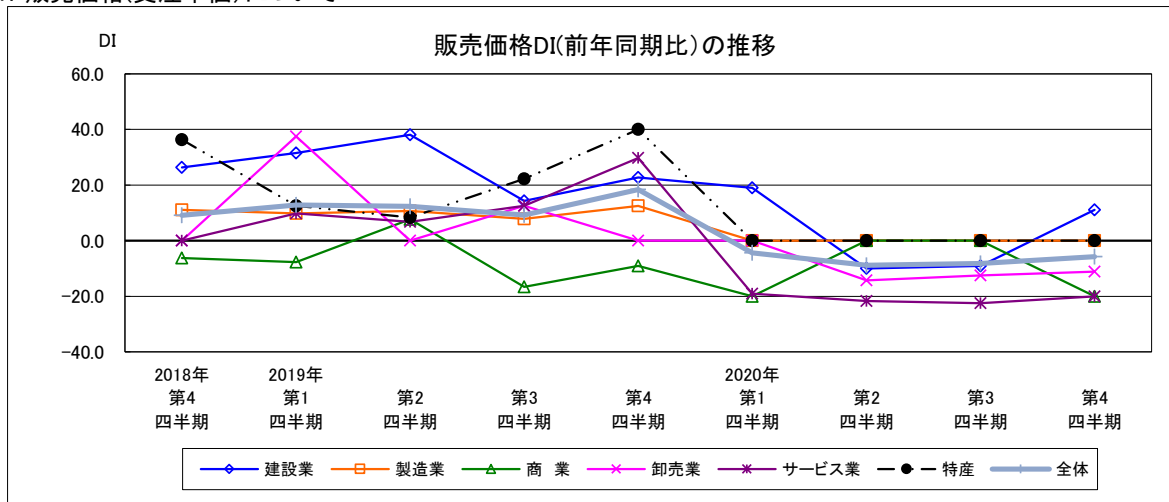
2. 採算について



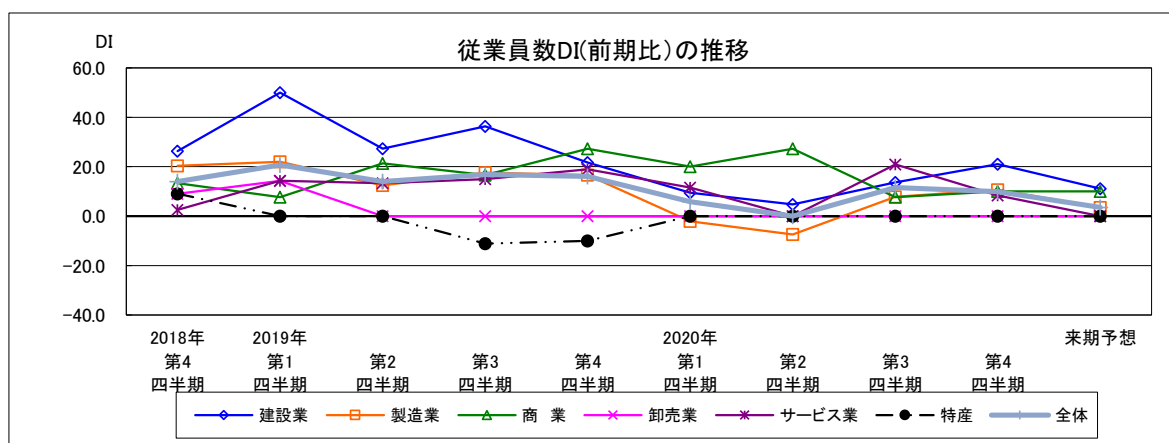
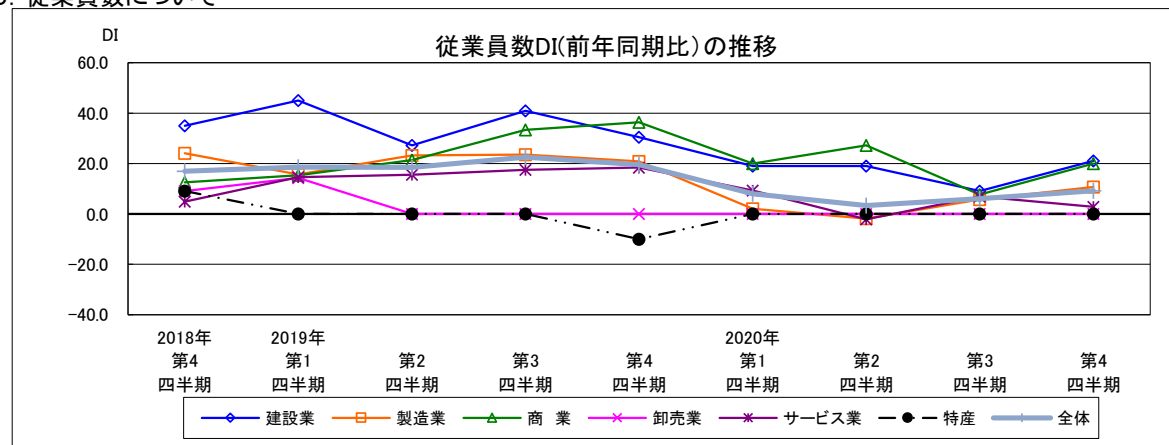
3. 商品在庫について



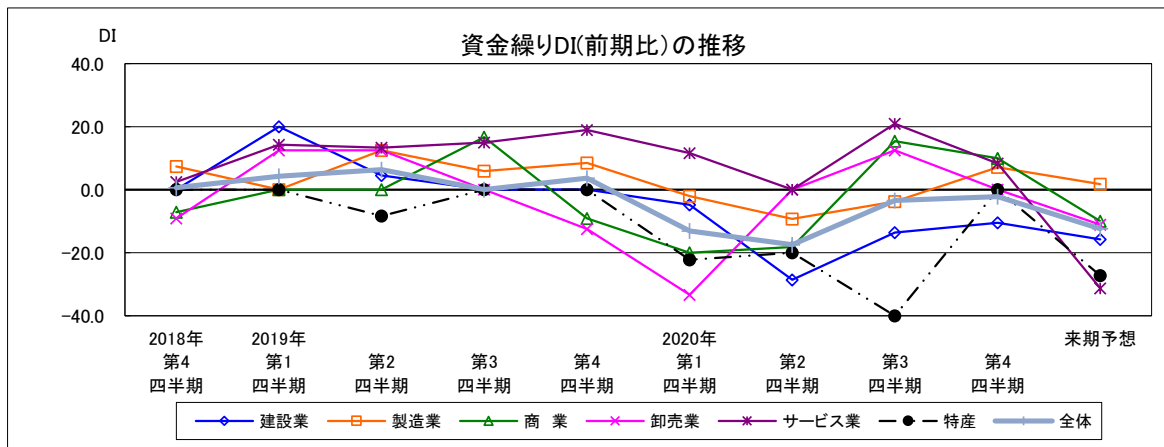
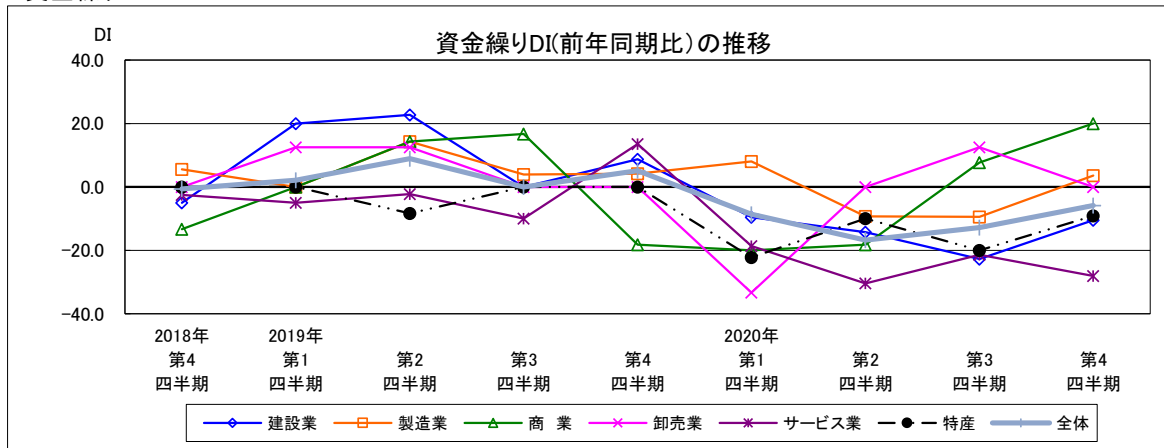
4. 販売価格(受注単価)について



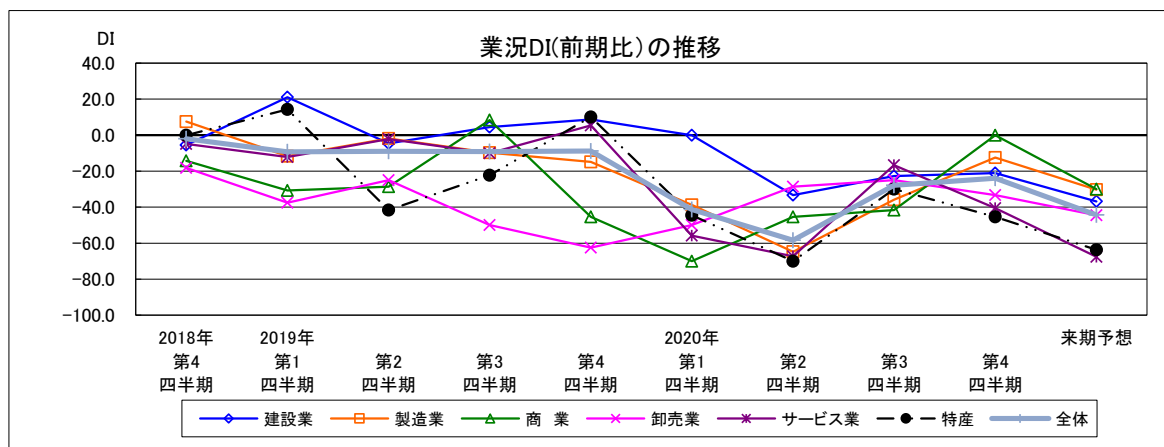
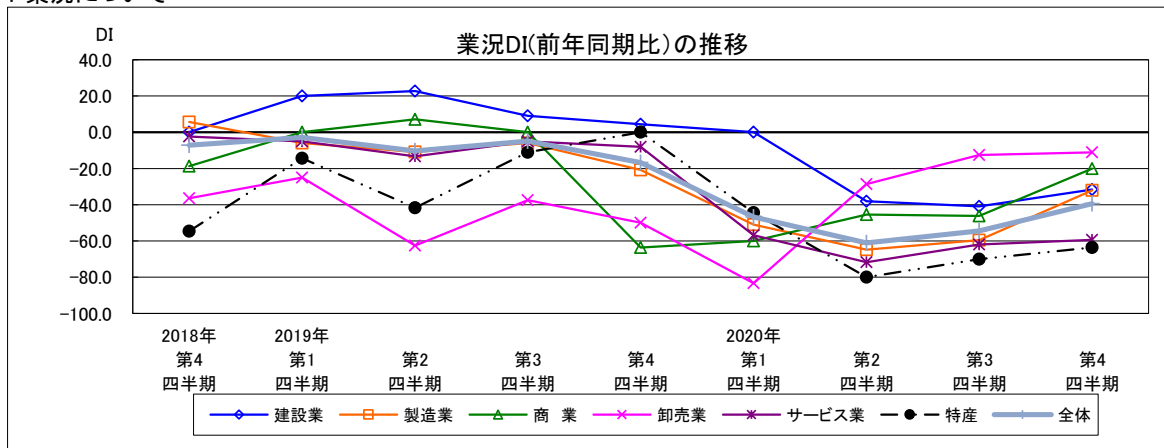
5. 従業員数について



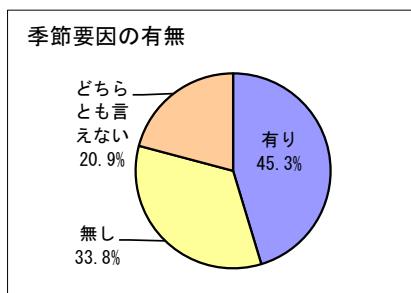
6. 資金繰りについて



7. 業況について



1～7の項目について季節要因による変動はありますか。



8. 以下は、頂いたコメントの一部を紹介しています。

○建設業

- ・地場戸建物件が減少したが、巣ごもりの影響でホームセンターが増加した。先行きは未だ不透明。
- ・コロナ禍により民間設備投資は低調ですが、公共工事が堅調なため採算は確保出来ています。しかしながら今後の収支悪化に伴う公共工事の削減が予想され、不安があります。

○製造業

- ・新型コロナウイルス。海外の動向。
- ・海洋プラ問題。CO2排出削減。
- ・主たる要因として、コロナによる動向、先々について見通しが見えない状況です。
- ・各取引先は15%～25%位マイナスで、当分現状から抜け出せないのは弊社も同じです。
- ・素経済産業は悪い。コロナ禍の影響が大きい。これからの産業動向が変わる。しかし、どのように変わるか情報提供を願いたい。
- ・令和2年上期、コロナによる減少分がここにきて戻ってきている。
- ・新型コロナウイルス対策の徹底。
- ・海外（ロックダウン）等による影響が懸念されている為、生産・売上減少が見込まれます。とにかく薬がでない事には繰り返す様に思えます。
- ・中国向けの部品が好調ですが、中国の部品メーカーのレベルも向上してきており、今後価格競争になる予想。
- ・得意先の中国向け受注が増加しています。在庫品を確保したいという事で受注が増えていますが、ある程度うった後の注文が心配です。5年前からしている得意先の受注は良好で、新案件も出してくださっています。まだまだ今が良くても先々の流れになるかは予測できません。

○商業

- ・12月は地域商品券（おの恋らっきゃらっきゃ券）を使用するお客様にたくさん来店していただきました。

○卸売

- ・新型コロナウイルスの第三派による影響がどれ程になるのか予測できない。悪くなるのは目に見えているので、気を引き締めていこうと思います。
- ・図面を書いたり、木工技術の知識を持った人材を要望しますが、良い方法があれば教えていただきたい。

○サービス

- ・コロナの為、全く予想が付きません。
- ・昨春からのコロナ禍でしたが、雇調金や各種給付金、無利子融資等、手厚い支援により不安なく事業が継続できている事に感謝しています。年間売り上げは前年比33%でしたが、業界内では健闘できた方のように思います。しかし、2021年はまだまだコロナ禍も続きそうなので、これからが経営手腕の見せどころかと思えます。
- ・新型コロナウイルスの影響で需要がかなり伸びたのですが、秋以降徐々に陰りが見え始めました。ネット系の低価格の新規参入業者の影響も出始めたみたいです。
- ・コロナで会社関係の注文が全くない。
- ・コロナによる要因が大。先が見えない。
- ・新型コロナウイルス
- ・コロナ禍の為、生徒の学力差がひろがってきている。（勉強する生徒・しない生徒の二極化）

○特産

- ・ネット販売は良い。デパート・イベント・小売・金物店（九州・東京・京都の外国人が0人）が心配。
- ・今回の緊急事態宣言で今後の見通しは不明。（悪化は確実）
- ・昨年12月より注文が激減して1月はどうか仕事がありますが、2月はこのままだと今までの半数の売り上げになりそうです。
- ・季節ごとに商品が違い、売上も違うのであまり比較にならないです。